

ら極く簡單に申し上げます。

一昨年の五月五日さしも吾労働運動史上に波紋を齎した大争議も解決を告けましたが、吾々は直ぐ翌日から商業参加の人々が乗船する爲め申込手續の手配にかゝねばならなかつた。内心慘敗の口惜しさに泣き乍らも、經濟的事情に余儀なくされて一日も乗船の日の速からん事を希ふ人々の耳に、自治會に入會しなければ乗船をさせぬ、或は所謂御燈明を試じなければ乗船が遅れる等と云ふ様な眞偽このまぜた噂が響いたのであります。其當時の氣持は吾等の永久に忘れ得ぬ所であります。

此時に當つて何等對策を講じなかつたならば、吾等の同志はモットゞへ壓迫されたに相違ない。斯様な點を聊かなりとも承認せんが爲に生れたのが、日本船員新聞であります。

七月八日の臨時大會に於て、支部長の後任として不肖が選ばれましてから、取敢へず支部を船員新聞社内に置いたのであります。當時の状勢は同友會として正面から運動する事が非常に困難な事情にあつたので、日本船員新聞を以て側面から運動する機關とした。

幸にして吾々の眞意は會員諸君の熱烈な支持に依つて附ひられ、やがて昨年の五月頃、會議によつて下船した人々が一通り乗船し終つた時を一轉期として、既に自治會の會費不納が開始されました。

此時から六七月にかけての自治會報の會計報告は如實にその結果を示して其幹部は周章を極めたものであります。然して我横濱支部は本部と相呼應して此機に乗じて一度に進出したのであります。

自治會は將に崩壊の危機に直面した。しかし當時に於て我同友會が復活し、しかも會社「息がかかる」た自治會が潰滅する事は社會の面目にかかる事であった。こゝで自治會幹部の更迭が行はれたのであります。

◇資 格 審 査 報 告 (内) 藤 君

「資格審査委員は、別室に於て、不肖を委員長とし、正規の手續を以て提出された委任狀、及今夕出席された代議員の資格を慎重に審査した結果出席代議員五十一名、有効委任狀五百二十二通を査定し十八通を無効と決定致しました。

萬葉一致支部報告を承認す。

此時議長は、資格審査報告をなさしむべく内藤委員長を差し招く。

爾來久留會長の就任を見るにいたりまして、本部と同様に支部の方も至極順調に進展し、事務所も昨年十一月より現在の元濱町に移転しました。

日本船員新聞も本會の復活を一段落として、昨年の十一月を以て廢刊しましたので十二月から毎月二回ニュースを發行して居ります。

法律部は顧問三輪泰壯氏によつて會員諸君の事件が着々と解決されつ。あります。又事業部としては四戸監院と特約の下に貿易料の免除、賃價の割引が實行され、下船中の金融機關としては公營質屋を利用せんが爲市當局に交渉して便宜を計つて居ります。

今や郵船は優秀船が完成に近づき、ありますが、それ等の船こそ、司屬部に新しい勢力を加へるものであります。それ等に對する會社の人事對策こそ非常に興味あることで、吾々は此復活した同友會に如何に影響するか、諸君と共に充分に監視の要があるであります。

以上を以て支部の報告を終ります」

萬葉一致支部報告を承認す。

此時議長は、資格審査報告をなさしむべく内藤委員長を差し招く。